

安心できる育児を支援

こそだて シップ 大船渡でママサロン開く

気仙在住の助産師有志を中心とする子育て支援団体「こそだてシップ」(伊藤怜子代表)

は8日、大船渡市盛町のカメリアホールで本年度初の「ママサロン」を開いた。乳幼児親子らがベビールーム

とキッズルームの2カ所に分かれ、くつろぎの時間を過ごした。

ママサロンは、妊娠初期から安心できる育児を支援しようとする。伊藤代表によると、本年度からは、対象を妊婦と未就学児親子まで拡大。参加親子はこれまででは一つの部屋で

3火曜日にカメリアホール、第2・4火曜日に陸前高田市の米崎地区コミュニティセンターで開かれてきた。

伊藤代表によると、本年度からは、対象を妊婦と未就学児親子まで拡大。参加親子はこれまででは一つの部屋で

過ごしてきたが、今回から妊婦と1歳までの乳児親子をベビールーム、1歳以上の未就学児親子をキッズルームの2部屋に分け、よりリラックスできる環境を提供することになった。

この日は、乳幼児と未就学児の親子合わせ約40組参加。スタッフとして、助産師とボランティア、保育士と子育てサポーターら合わせて約30人がサロンリズム体操で元気に体を動かす親子にカメリアホール

の運営に当たった。このうち、2階和室に設けられたベビールームでは、こそだてシップメンバーの助産師が育児や赤ちゃんの健康などに関する母子相談に対応。ベビーマッサージも行い、その間母親らが子育て談義を楽しむなど交流を図った。

一方、1階ホールのキッズルームでは、リズム体操やオモチャ遊びが行われ、親子、子ども同士が元気に体を動かしながらスキップを深めた。午後からは読書ボランティア「おはなしころりん」による読み聞かせも行われ、親子で絵本の世界を楽しんだ。

ママサロンは今後、毎月第1火曜日にカメリアホール、第3火曜日に米崎地区コミュニティセンターで開かれる。参加費は200円(保険料、軽食、おやつ代込み)。時間は午前10時～午後3時で、参加、帰宅時間とも自由。

サル劇場など楽しむ

再生の里ヤルキタウン

米崎町

陸前高田市米崎町のコミュニティ広場・再生の里ヤルキタウンで7日、一関市の岩手サファリパークなどによる「サル劇場」や、福島県のトランペッター・Noby(ノビ)

ちがのびのびと運動できる場を提供している。また、こそだてシップでは、定期的なサロンに参加できない母子たちのために気仙地域の仮設住宅などを訪問する「巡回こそだてシップ」も展開しており、利用を呼びかけている。

サル劇場は、同広場に設置した特設ステージで展開。登場したサルは、ニホンザルのりょうま君と、アフリカ出身のこはるちゃん。高いハードルをジャンプしたり、観客を選んだ数字のブロックを選んでトレーナーに手渡すなどの芸で、見ている子どもたちは大はしゃぎ。



ライブでは、Nobyさんが人気アニメ「ワンピース」の主題歌「ウィーアー!」や歌謡曲、ジャズなど多彩なジャンルの曲を演奏。トランペットのきらびやかな音色で、聴衆を魅了した。

ほかにもウサギやモ